

水鳥からまなぶ ふるさとの自然と文化

環境学習プログラム集

西日本屈指の水鳥の宝庫

斐伊川水系の水辺には、毎年何万羽もの渡り鳥が海を越えて訪れます。特に5種群もの大型水鳥類が生息可能なポテンシャルをもつのは、日本唯一と言われてます。なぜこれほど多くの水鳥が集まるのか—それは、宍道湖や斐伊川、その周辺の水田や里山など、この地域に多様で豊かな自然環境があるからです。

水鳥はふるさと学習の教材

水鳥はこの地域の豊かな自然の象徴といえます。水鳥の生態や、多くの水鳥が訪れることの意味について知ることを通じて、ふるさとの豊かな自然や、人々が守り続けてきた農業や伝統文化を、わかりやすく学ぶことができます。また、貴重な水鳥に選ばれた地域として愛着や誇りを育むことにつながります。

環境学習プログラム集の目的

この地域で育つ子どもたちが、水鳥に象徴される豊かな自然と文化を学び、ふるさとのすばらしさを実感できるよう、圏域内の環境学習施設や団体等と協力し、環境学習プログラム集を作成しました。このプログラム集では、水鳥を通じて地域の自然や文化を学ぶことができる各種見学・体験・学習プログラムをご紹介します。学校や地域での活動に、是非活用ください。

主な環境学習施設の位置



- ✓ プログラム内容の詳細については、各施設にお問い合わせください。
- ✓ 各施設には、それぞれの特色を活かした自然や環境、教育に関する専門スタッフがおり、それぞれのニーズにあったプログラムの提案が可能です。お気軽にご相談ください。

令和2年3月

発行：斐伊川水系生態系ネットワークによる大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会 環境学習ワーキング事務局 国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所

編集協力（公財）日本生態系協会

宍道湖グリーンパーク



宍道湖のほとりにある水鳥観察の拠点施設。人と自然の共存を目指して整備された多自然型公園です。園内には、2019年にリニューアルオープンしたばかりの新しい野鳥観察舎やビオトープ池等があります。近接する水田では、周辺農家の協力を得て冬期湛水を実施しており、ハクチョウ等が飛来することがあります。

住所	〒691-0076 島根県出雲市園町 1664-2
電話	0853-63-0787
開館時間	9:30~17:00 (最終入館 16:30)
休館日	毎週火曜日 (祝日の場合は翌平日休み) 12月28日~1月1日 (年始臨時開園あり)
入館料	無料
申込方法	お電話でご連絡ください。(予約は1か月前まで)
URL	www.green-f.or.jp/gp/



宍道湖の自然や野鳥についての講話

来館プログラム

対応する科目	理科・社会科・総合的な学習の時間
時期	通年
主な対象	5年生以上
所要時間	30~50分
定員	30名程度
ねらい	宍道湖とその周辺の自然の特徴やそこに生息する野鳥、ラムサール条約などについて理解を深める。
活動場所	グリーンパーク内 レクチャールームなど
内容	「ラムサール条約について」 ラムサール条約登録湿地である宍道湖や中海の自然の特徴や野鳥についてお話しします。 「宍道湖に渡ってくる鳥たち」について 宍道湖は国内有数の渡り鳥の飛来地であり、大型の水鳥がくらすことができる貴重な自然が残されたところです。渡り鳥と周辺の環境などについてお話しします。



バードウォッチング

来館プログラム

対応する科目	理科・生活科・総合的な学習の時間
時期	通年
主な対象	小学生全学年
所要時間	30~50分
定員	30名程度
ねらい	野鳥観察を通して、多くの野鳥がくらすしていることを体感する。
活動場所	グリーンパーク内 野鳥観察舎やその周辺
内容	グリーンパークだからこそできる、望遠鏡や双眼鏡などを使った本格的な野鳥観察プログラムです。季節や学年に応じて様々な対応ができます。また、野鳥観察舎があるので、雨天時にも実施することができます。



出雲市トキ公開施設(トキ学習コーナー)



日本のトキを見学することができる西日本唯一の施設。出雲市では、環境省のトキ保護増殖事業の下で分散飼育を実施しています。トキの生態や野生復帰の意義などについて理解を深めるために、7月から12月までトキの一般公開を行っています。綺麗な朱鷺色の羽根や、えさを食べる様子、飛ぶシーン等を間近で見学することができます。近隣のトキ学習コーナーでは、トキの映像やはく製、解説が見られます。また、飼育しているトキの仲間が観察できます。

住所	〒693-0037 島根県出雲市西新町2丁目1039-3
電話	0853-20-1350
開館時期・時間	7月1日～12月28日 [7月～9月] 10:00～16:00 [10月～12月] 10:00～15:00
休館日	毎週火曜日(祝日の場合は翌日休み)
入館料	入場はしまね花の郷からとなるため、しまね花の郷の入園料(大人200円、小中高生100円)がかかります。また、トキ保護繁殖のための協力金の寄付をお願いします。
申込方法	団体:事前にお電話等でご連絡ください。



朱鷺が生きていく自然環境について学ぼう

来館プログラム
(7～12月)

出前講座

対応する科目	理科・社会科・総合的な学習の時間
時期	7月～12月(出前講座は随時行います)
主な対象	小学生・中学生(全世代対象です)
所要時間	30～45分
定員	50名
ねらい	トキの公開個体の観察や、絶滅危惧種の野生復帰に向けた取り組みの説明を通じて、自然環境の保全再生の意義を学び、地域への愛着を育む。
活動場所	主に室内
内容	トキの公開個体の観察を通して、トキの生態とトキ保護増殖の取り組みについて説明します。また、トキやコウノトリなど絶滅危惧種の野生復帰に向けた環境改善の取り組みを紹介します。※出前講座では、個体の観察を除く内容となります。



斐伊川水系ですすめられている「生態系ネットワークの形成」の取り組み

野生の生きものは、えさ場や、ねぐら、子育ての場所など、自然地を移動してくらしています。これらの自然の拠点を守り、それらをつなぐ取り組みを「生態系ネットワークの形成」といいます。

生態系ネットワークの形成に取り組むことで、地域の自然が豊かになると同時に、自然を活かした経済振興や地域活性化が期待されています。

この地域の魅力に着目し、平成27年4月に官民が連携して「斐伊川水系生態系ネットワークによる大型水鳥類と共に生きる流域検討協議会」が設立され、多様な主体による大型水鳥類が生息できる環境づくりと観光や農業振興などの魅力的な流域づくりが取り組まれています。

・斐伊川水系における生態系ネットワーク形成の指標となっている大型の水鳥たち・



ガン類(マガン)
【国の天然記念物】

秋の訪れとともにシベリア等から渡来し、春の訪れとともに去っていきます。飛来数は2,500羽を超え、斐伊川河口周辺や宍道湖をめぐらし、周辺の水田で落ち穂などを食べます。日暮れとともに湖に向かって一斉に飛ぶ光景は圧巻です。



ハクチョウ類(コハクチョウ)
【島根県の鳥】

ユーラシア大陸から10月頃に宍道湖・中海周辺に渡来し、3月頃まで越冬します。その数は毎年2,000羽を超え、日中は周辺の水田で草や落ち穂を食べ、夜は米子水鳥公園や能義平野等のねぐらに帰ります。古事記にも登場する古くから親しまれてきた鳥です。

島根県立三瓶自然館サヒメル



国立公園三瓶山の自然に囲まれた自然系博物館。化石や動物のはく製などの展示やプラネタリウム、本格的な天文台、三瓶小豆原埋没林の巨木展示など、三瓶山を中心に島根県の自然を「見て」「ふれて」楽しめる展示で紹介しています。鳥類から化石まで自然系の各分野の学芸スタッフによる専門的解説を聞くこともできます。

住所	〒694-0003 島根県大田市三瓶町多根 1121- 8
電話	0854-86-0500
開館時間	9：30～17：00 [4月～9月の土曜] 9：30～18：00
休館日	毎週火曜日（休・祝日の場合は翌平日休み） 2019年11月11日～2020年4月15日リニューアル工事のため休館
入館料	大人（ ）内は20名以上の団体料金 ①夏期以外の企画展期間 600円（480円） ②夏期企画展期間 ※年により変動します ③上記以外の期間 400円（320円） 小・中・高校生 ①②③ともに200円（160円）
申込方法	お電話でご連絡ください。
URL	www.nature-sanbe.jp/sahimel/



コウノトリのひみつ		来館プログラム	出前講座	教材貸し出し
対応する科目	理科・生活科・総合的な学習の時間			
時期	通年			
主な対象	小学生以上 全世代			
所要時間	45分～2時間（要望に合わせて）			
定員	100名			
ねらい	生態系の頂点にあるコウノトリの子育てを通して身近な自然の豊かさ、大切さに気づく。			
活動場所	主に室内			
内容	コウノトリのお話（基本の生態から島根県での子育ての紹介） お話の際には、実物大の写真や重さを体感できるぬいぐるみなど体験的なまなびのハンズオングッズがあります。来館プログラムの場合には、コウノトリのはく製や骨格標本など博物館ならではの標本類も見ることができます。			



ツル類(ナベヅル)

【環境省レッドリスト 絶滅危惧Ⅱ類】

ユーラシア大陸から数羽が渡来し越冬することがあります。胴体の灰黒色が墨色となった鍋を思わせることから、「鍋鶴(ナベヅル)」、一回り大きなマナヅルは、本当のツルという意味で「真鶴(マナヅル)」と付けられたと言われています。



コウノトリ

【国の特別天然記念物】

一度野生絶滅しましたが、保護活動を経て野生復帰し、全国で150羽が生息するようになりました。2017年から雲南市で繁殖が確認され、毎年ひなが巣立っています。斐伊川や松江の水辺でも姿を見かけることがあります。



トキ

【国の特別天然記念物】

一度野生絶滅しましたが、保護活動を経て新潟県佐渡市で400羽が野生下で生息しています。出雲市では分散飼育を実施し、2019年から一般公開も開始されました。出雲での野生復帰をめざし、生息環境の保全に取り組んでいます。

米子水鳥公園



中海における水鳥観察の拠点施設。室内のネイチャーセンターからは、専門指導員のガイド付きで観察することができます。中海干拓事業の中で、ハクチョウ等の一大生息地となったことから、広く水鳥の観察をはかるために整備され、秋にはコハクチョウやマガンが最大 1,000 羽以上集まります。



住所	〒683-0855 鳥取県米子市彦名新田 665
電話	0859-24-6139
開館時間	[4月～10月] 9:00～17:30 [11月～3月] 7:00～17:30 (土・日・祝日) 8:30～17:30 (平日)
休館日	毎週火曜日 (祝日の場合は翌日休み) 祝日の翌日 (土曜日、日曜日を除く) 12月29日～1月3日 (臨時開園あり)
入館料	大人 310円 ※有料入館者 15名以上及び外国人は大人 200円 ※入館料免除あり (中学生以下・70歳以上の方・障がい者手帳をお持ちの方)
申込方法	各プログラム欄に記載
URL	www.yonago-mizutori.com/

鳥ビンゴ

来館プログラム

対応する科目	理科・生活科・総合的な学習の時間
時期	通年
主な対象	小学生全学年
所要時間	25分程度
定員	50名(2人1組)
ねらい	水鳥の観察を楽しく行いながら、それぞれの種の特徴を観察する。
活動場所	米子水鳥公園ネイチャーセンター観察ホール
内容	鳥ビンゴシートにチェックをつけながら、望遠鏡で水鳥を観察する。
申込方法	団体:事前にお電話等でご連絡ください。



クイズラリー


来館プログラム

対応する科目	なし
時期	通年
主な対象	小学生・中学年以上
所要時間	20～30分
定員	なし
ねらい	館内・園内をくまなく巡り、米子水鳥公園の施設をより深く見学する。
活動場所	米子水鳥公園館内・園内
内容	園内を歩きながらクイズ看板を探し、三択のクイズに答えていく。
申込方法	事前申込は必要ありません。当日レンジャーカウンターでクイズの解答用紙をもらってください。



メダカ池の観察

来館プログラム

対応する科目	理科・生活科・総合的な学習の時間	
時期	春～秋（ただし、真夏の時期をのぞく）	
主な対象	小学生・中学生	
所要時間	30分	
定員	30名	
ねらい	身近な自然の生きもののメダカを実際に捕まえ観察する。	
活動場所	米子水鳥公園 メダカ池	
内容	メダカ池でタモを借りてメダカを捕まえます。事前に団体での申し込みがあった場合は、池で捕まえた生きものの解説を職員が行います。	
申込方法	団体：事前にお電話等でご連絡ください。 個人：ネイチャーセンター受付でお声かけください。	


キコニアまなびネット

雲南市で2017年から子育てをはじめた国の特別天然記念物コウノトリ。それは人と自然が共生する里地・里山の環境が、豊かな生きものたちを育てていることの証でもあります。雲南コウノトリ学習サポート《キコニアまなびネット》では、コウノトリを軸としたさまざまな学びの場面をサポートします。

代表	和田 邦子（元雲南市立西小学校校長）
申込・問合せ	kikoniagenki@gmail.com メールにてご連絡ください。
URL	kikoniagenki.wixsite.com/kikonia

国の特別天然記念物 コウノトリ「げんきくん」のお話 ～げんきくんとひなたちを応援する取組～

出前講座

対応する科目	理科・社会科・総合的な学習の時間	
時期	通年	
主な対象	小学校4年生以上・中学生	
所要時間	60分	
定員	なし（要望に合わせてます）	
ねらい	コウノトリを学ぶことを通じて、命の尊さ、地域の自然の豊かさと魅力、自然と人の共生の大切さへの気づきを促す。さらに、地域への誇り、これからの街づくりへの好奇心、自然への探求心などを、各校の学習の状況やねらいに合わせて育む。	
活動場所	主に室内	
内容	コウノトリの生態、絶滅や野生復帰の足跡、バランスの取れた生態系保全の取り組み、雲南に営巣したげんきくんの子育て奮闘記などを、子どもの視点に立ってお話します。	
備考	講師料が5,000円かかります。	